

Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 2 日 (日)

試合時間：12:20～

主審：川原 禎仁

副審：井元 誠

日本経済大学	○ 80	23	—1st—	15	● 75	東海大学九州
		21	—2nd—	20		
		19	—3rd—	20		
		17	—4th—	20		

第 1 ピリオド

序盤から、両チーム激しいディフェンスで相手に得点を与えない。その状況の中、日経大は、攻撃の軸である #00 マレムが最初の得点を決める。さらに、#13 喜多の 3P シュート、#00 マレムのバスケットカウントが決まり、東海大を突き離す。対する東海大は、残り 7:53、タイムアウトを請求する。タイムアウト明け、東海大は #9 豊田のバスケットカウント、#14 小澤の 3P シュートが決まり、日経大に喰らい付く。しかし終了間際、日経大 #00 マレムのジャンプシュートが決まり、23-15、日経大リードで終える。

第 2 ピリオド

開始早々、日経大 #13 喜多の 3P シュートが決まる。東海大も負けじと、#10 井上がジャンプシュート、#14 小澤が 3P シュートを決め返す。両チーム、一步も譲らない展開のまま、およそ 2 分間得点の入らない時間が続く。追いつきたい東海大は、#10 井上の 3P シュートで差を詰める。しかし、日経大の高さを活かしたオフェンスが光り、44-35。日経大の 9 点リードで、試合を折り返す。

第 3 ピリオド

前半同様、両者ともに主導権を譲らず、点の取り合いとなる。日経大は、#00 マレムを中心に、#33 江口の 3P シュートなどで点差を広げようとする。対する東海大は、#10 井上、#6 山下が 3P シュートやオフェンスリバウンドからのシュートで応戦し、積極的な攻めで日経大を追いかける。終盤、東海大は #77 赤坂の 3P シュートが決まり、63-55 と差を 8 点に縮め、反撃へと望みを繋げる。

第 4 ピリオド

東海大は、第 3 ピリオドの流れのまま、着実に得点を伸ばす。ここでも、#10 井上が奮起し、高確率でシュートを決めていく。続けて #8 金子の 3P シュートも決まり、日経大に 4 点差まで詰め寄る。終盤、#14 小澤が意地のバスケットカウントを決め、最後の追撃を仕掛ける。しかし、日経大 #13 喜多が、この日 3 本目の 3P シュートを決め、勝利を確実なものにしていく。多彩な攻撃と、ミスのないプレーで勝ち続けた日経大が、80-75 で試合を制し、全勝優勝を飾った。